

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

湖西市地域公共交通会議

平成22年3月19日設置

フィーダー系統 平成28年8月5日 確保維持計画策定

本市が目指す将来都市像の実現を支援する交通将来像は、鉄道、路線バス、コミュニティバス及びタクシー等の多様な公共交通が相互に連携し、市民の生活行動や来訪者の観光交流等の移動ニーズに応じた公共交通ネットワークを形成することで、「誰もが、安全・安心・快適に移動できる交通環境が充実した暮らしやすいまち」を目指します。計画期間は平成29年度～平成33年度の5か年とします。

地域公共交通の基本方針

「誰もが、安全・安心・快適に移動できる交通環境が充実した暮らしやすいまち」
 の実現に向けて

基本方針 1 鉄道、路線バス、コーちゃんバス及びタクシーが一体となり、日常生活の移動を支える地域公共交通ネットワークを形成します。

基本方針 2 公共交通の充実により各拠点のにぎわいと交流の創出を支援します。

基本方針 3 市民や利用者に分かりやすく、利用しやすい公共交通サービスを提供します。

基本方針 4 多様な主体の連携・協働による取り組みを推進するとともに、地域公共交通を育む仕組みを構築します。

図 地域公共交通のネットワークイメージ



【評価・検証の基本的考え方】

計画策定年度から「毎年実施する事業単位での評価・検証」と「目標年次におけるネットワーク全体での評価・検証」を実施します。

事業単位での評価・検証は、湖西市バス運行評価改善委員会と協力して毎年実施します。

ネットワーク全体での評価・検証は、目標年次に実施します。

評価基準が達成できていない場合は、事業毎にその要因を分析し、改善点を検討・実施します。

目標年次には、ネットワーク全体での評価・検証及び改善点の検討に基づき、計画の見直しを行います。

目標	評価指標	評価基準		
目標 1 公共交通相互が連携を図る、地域公共交通ネットワークの形成を目指します。	評価指標 1-1 公共交通利用者数の増加	公共交通利用者数（乗車人数）（事業者提供データ）		
		現況値[H27]	評価基準[H33]	
		公共交通利用者数	3,772 千人 3,772 千人以上	
	評価指標 1-2 公共交通の利用頻度の増加 （月に数回以上の利用をする人の割合の増加）	月に数回以上の利用をする人の割合（市民アンケート）		
			現況値[H28]	評価基準[H33]
		東海道本線	24.8%	24.9%以上
		天竜浜名湖線	1.3%	1.4%以上
		浜名線	1.4%	1.4%以上
		コーちゃんバス	3.0%	3.3%以上
目標 2 拠点駅（鷺津駅、新所原駅、新居町駅）へのアクセス利便性の向上によりにぎわいと交流を創出します。	評価指標 2 拠点駅（鷺津駅、新所原駅、新居町駅）における各公共交通機関の利用者数の増加	拠点駅の駅・バス停乗車人数（事業者提供データ）		
			現況値[H27]	評価基準[H33]
		鷺津駅	1,295 千人 1,295 千人以上	
		新所原駅	1,516 千人 1,516 千人以上	
		新居町駅	829 千人 829 千人以上	
目標 3 公共交通に対する満足度を高めます。	評価指標 3-1 公共交通に対する不満割合の減少	公共交通に対する不満割合（市民アンケート）		
			現況値[H28]	評価基準[H33]
		公共交通に対する不満割合	64.0% 64.0%未満	
	評価指標 3-2 乗り継ぎに関する不満割合の減少	乗り継ぎに関する不満割合（バス利用者アンケート）		
			現況値[H28]	評価基準[H33]
		乗り継ぎに関する情報や案内	30.9% 30.9%未満	
目標 4 多様な主体が連携して各種取り組みを実施します。	評価指標 4 市民等が主体的に取り組む事業の件数	市民等が主体的に取り組む事業の件数		
			現況値[H28]	評価基準[H33]
		市民等が主体的に取り組む事業の件数	0 件 4 件以上	

表 事業単位での評価・検証における評価指標（天竜浜名湖線、浜名線、自主運行バス浜名線、コーちゃんバスの運行）

評価指標	評価基準	
市内駅の1日当たり乗車人数	天竜浜名湖線	435 人/日 以上
1 便当たり平均乗車人数	浜名線	3.2 人/便 以上
	コーちゃんバス	3.7 人/便 以上
	自主運行バス浜名線	4.7 人/便 以上
利用者1人当たり運行経費	浜名線	312 円/人 以下
利用者1人当たり市負担金	コーちゃんバス	682 円/人 以下
	自主運行バス浜名線	280 円/人 以下

表 目標と評価基準

日ノ岡バス停での乗り継ぎの安全性確保のため、経路を変更し、バス停をコーちゃんバスに統一

日ノ岡バス停付近の運行経路及びバス停留所（自主運行バス）の変更



市民と行政が協働した“コーちゃんバスを上手に利用する会”を発足

- 第1回ミーティング：平成29年5月19日（金）西部公民館講座室1.2 会員7名
- 第2回ミーティング：平成29年7月24日（金）西部公民館講座室3 会員10名

※小学生バス乗り方教室やふれあい広場における啓発活動、バス乗車による改善提案など幅広く活動



免許返納者を支援する仕組みづくり

○平成29年4月から、運転免許証を自主返納等した市民を対象に、2年分のコーちゃんバス及び自主運行バス浜名線の無料乗車券を発行している。利用者は月に300人程度あり、利用者増に貢献している。



運転免許証の自主返納等をした方にバスの無料乗車券（2年間）を交付します！

運転免許証を自主返納等した方に、運転免許証を返納した日から2年間の無料乗車券を交付します。交付対象は、湖西市に在住する方です。交付場所は、湖西市役所市民協働課です。

<申請の方法・手順>

①申請書類の提出
②申請書の提出
③申請書の提出
④申請書の提出



図 啓発チラシ、無料乗車券

平成29年9月末申請者数：133人

“コーちゃんバスを上手に利用する会”と協力して、小学生や外国人を対象としたバスの乗り方教室を開催

- ・市内4ヶ所で小学生の乗り方教室を開催し、コーちゃんバスをPR
- ・ふれあい広場で乗り方教室を開催（日本人：1回、外国人：3回（ポルトガル語、スペイン語））を実施した。参加人数 小学生222人 ふれあい広場46人（うち外国人28人）



図 実施状況

交通事業者と連携して、バスの日に市内公共交通の乗車体験などを開催

- ・交通事業者(遠州鉄道株、遠鉄タクシー株、浜松バス株)と協力して、ふれあい広場で市内公共交通の乗車体験や乗り方教室などの啓発活動を開催



図 実施状況等



東三河50円バス実行委員会と協力して、夏休み小学生50円バスを実施

- ・夏休み小学生50円バスを夏休み期間中に実施
- ・各小学校の生徒へ利用例を記載したチラシを夏休み前に配布



図 事前周知チラシ、情報掲載の共有ポスター、広報
7月22日(土)～8月29日(火) ※バス運行は7月24日(月)～

その他、各種取り組みを検討・実施

- ・自主運行バス浜名線の運賃制度の変更（H30.4～）
- ・わかりやすく利用しやすい運賃制度の検討
- ・企画乗車券の発行（H30.2～予定）
- ・コーちゃんバス乗り継ぎ案内チラシの配布（H29.6）
- ・バス路線沿線の商業施設等との連携、バス停オーナーの増加（H30.4～）
- ・住まいと暮らしの展示会における多文化共生やコーちゃんバスの利用促進（H29.2）
- ・コーちゃんバスビンゴラリーの実施（～H30.2）
- ・敬老週間における高齢者割引の実施（H29.9）
- ・コーちゃんバスを利用した小学生市内お出かけ計画の企画・実施（H29.8）
- ・地域フィードバックの検討
- ・運転手からの定期的な聞き取り、報告
- ・企業担当者と従業員のバス利用意向調査 など

4. 具体的取組みに対する評価

- 湖西市では、湖西市地域公共交通会議と湖西市バス運行評価改善委員会との協力により評価・検証を行うこととしています。
 - 平成29年度湖西市バス運行評価改善委員会では、昨年度提案された湖西市の地域公共交通の改善策の詳細検討・実施及びその効果把握と、平成28年10月～29年9月までの1年間の評価と改善策の検討をしました。
 - また、平成29年5月に策定した“湖西市地域公共交通網形成計画”に基づく各事業の検討・実施状況を評価し、改善策の提案を実施しました。
- 第1回バス運行評価改善委員会 平成29年10月18日（水）
 - 第2回バス運行評価改善委員会 平成29年11月14日（火）
 - 第3回バス運行評価改善委員会 平成29年12月13日（火）

事業名	事業内容	自己評価(効果達成状況)	
拠点内巡回・拠点アクセス	①コーちゃんバス ・ 現行サービス水準での運行【継続】 (H29～H31.9 実施)	B	サービス水準を維持して運行を継続している。
	・ 路線の再編 (H29～H31.9検討)(H31.10～実施)	B	デマンド型交通なども踏まえて路線の再編を検討している。
	・ 運賃体系の見直し (H29～H31.9検討)(H31.10～実施)	B	整合性のとれた運賃体系を検討している。
	②自主運行バス浜名線 ・ 現行サービス水準での運行【継続】(H29実施、H30～H31検討)	B	サービス水準を維持して運行を継続している。
	・ 路線の再編(H29～H31.9検討)(H31.10～実施)	B	H30年からコーちゃんバスへ移行する。
	・ 運賃体系の見直し (H29検討)(H30～実施)	B	H30年からゾーン制運賃に統一する。

形成計画に記載されたスケジュールに沿った各事業毎の進捗状況、各路線、利用促進策、遠州鉄道バスに関する評価を上記のように行いました。

事業名	事業内容	自己評価(効果達成状況)	
公共交通に関するわかりやすい情報を提供する事業	①公共交通利用に係る積極的な情報提供 ・バス停(コーちゃんバス)の案内表示の多言語化の実施 (H29検討)(H30~H33実施)	B	H30年度以降の実施に向けて検討していく。 拠点駅バス停の、ローマ字表記など一部事業を実施する。
	・公共交通マップの企画・作成・見直し (H29~H33実施)	B	H29年度計画推進事業において実施を予定している。 H30年3月に公共交通マップの配布を予定。
	・バス利用啓発ポスターの企画・作成・見直し (H29~H33実施)	B	H29年度計画推進事業において実施を予定している。 H29年12月に公共交通会議で協議し、片道定期券を作成する。
	②分かりやすい運行情報・乗継情報の提供 ・公共交通マップへのわかりやすい乗継情報の掲載等 (H29~H33実施)	B	H29年度計画推進事業において実施を予定している。 H29年3月公共交通マップの配布を予定。
	・拠点駅におけるバス乗り場の案内表示の設置 (H29検討)(H30~H33実施)	B	H30年以降の実施に向けて検討している。
	・主要施設や主要バス停でのバスロケーションシステムの検討 (H29~H31検討)(H32~H33実施)	B	H32年以降の実施に向けて検討している。
公共交通の利用を誘導する事業	①公共交通の割引運賃の導入 ・バスの日乗放題券等の企画乗車券の導入 (H29~H33実施)	B	H29年度計画推進事業において実施を予定している。 H29年12月に公共交通会議で協議し、片道定期券を作成する。
	・天竜浜名湖線の小学校入学祝い記念乗車券、敬老記念乗車券の発行【継続】 (H29~H33実施)	B	天竜浜名湖線の運賃助成を継続している。
	②モビリティマネジメントの実施 ・小学生や高齢者を対象とした乗り方教室の開催【継続】 (H29~H33実施)	B	小学生を対象として総合学習の機会に乗り方教室を開催した。
	・公共交通利用促進のための動機付け資料の作成 (H29~H33実施)	B	H29年度計画推進事業において実施を予定している。 H29年12月に入出地区で簡易TFPを実施。
	・特定地域におけるモビリティマネジメントの実施 (H29~H33実施)	B	H29年度計画推進事業において実施を予定している。 H29年12月に入出地区で簡易TFPを実施。
	③免許返納者の優遇 ・免許返納者への優遇措置の導入 (H29~H33実施)	A	H29年4月から運転免許証自主返納等をした市民を対象に2年間のバス無料乗車券を交付している。
	④観光振興のための公共交通利用促進策の実施 ・観光モデルルートの設定や市内バスツアーの実施 (H29~H31検討)(H32~実施)	B	H32年度の実施に向けて検討を行う。

形成計画に記載されたスケジュールに沿った各事業毎の進捗状況、各路線、利用促進策、遠州鉄道バスに関する評価を上記のように行いました。

⋮

事業名	事業内容	自己評価(効果達成状況)	
地域 フイ ーダ ー	①導入検討路線 ・導入に向けた検討(H29～H31.9検討)	B	一部の地域において導入に向けた検討を実施している。
	・実証実験 (H29.12～H30.9実施)	B	H30年3月から実施する。
	・本格運行(地域との合意を得る) (H29.9～H33検討)	B	実証実験と併せて本格運行に向けた検討を行う。
バス への 愛着 (マイ バス 意識 を高 める 事業	①関係機関と連携した取り組み ・市内商業施設と連携したバス到着アナウンスの実施 (H29～H32.9検討) (H32.10～実施)	B	H32年度の実施に向けて検討を行う。
	②地域や企業、学校と連携した取り組み ・バス停周辺における環境整備、清掃、緑化など (H29～H33実施)	B	各種利用促進策を実施した。 (詳細は利用促進策実施状況を参照)
	・夏休み小学生50円バスの継続実施【継続】 ・中学校卒業予定者を対象とした利用啓発活動の継続実施 等 (H29～H33実施)	A	夏休み小学生50円バスをはじめ、各種利用促進策を実施した。
	③交通事業者と連携した取り組み ・バスの日イベントでの啓発活動の実施 等 (H29～H33実施)	A	交通事業者と協力して公共交通に関する利用啓発を実施した。 (詳細は利用促進策を参照)
	④コーちゃんバスを上手に利用する会の取り組み ・コーちゃんバスイメージアップの推進、企画乗車券の企画 等 (H29～H33実施)	A	小学生乗り方教室をはじめとする、利用促進策への参加、改善 点の提案を実施した。
取 体 多 り に 様 組 よ な み る 主	湖西市地域公共交通会議の継続的開催【継続】	B	継続実施
	湖西市バス運行評価改善委員会の継続的開催【継続】	B	継続実施
	コーちゃんバスを上手に利用する会の立ち上げ・継続的開催	A	平成29年に立ち上げ、現在は2回開催、継続開催する予定。

形成計画に記載されたスケジュールに沿った各事業毎の進捗状況、各路線、利用促進策、遠州鉄道バスに関する評価を上記のように行いました。

- 地域公共交通確保維持事業に関する目標は99,064人に対し102,789人と人員的な目標は達成することができた。しかし、路線別に考えると、白須賀新居鷺津線における乗り継ぎや利用者の減少が目立つ知波田鷺津線や岡崎循環線、鷺津循環線に関する効果的な経路、ダイヤの検討や路線維持に向けた利用促進策、より効果的に路線を評価をするための定量的な基準設定が必要と考えられる。
- 湖西市地域公共交通網形成計画のスケジュールを適切に実施していく。
- 課題に対する取組み(評価改善委員会における改善提案・来年度に向けた取組み内容を抜粋)
 - ①地域フィーダーにおけるデマンド型交通の検討。
 - ②コーちゃんバスを上手に利用する会の継続実施。
 - ・ 実際に乗車した上での路線・ダイヤ等の改善検討。
 - ・ 各種利用促進策への参加、協力。
 - ③路線評価の定量的な基準を検討し、公共交通会議で協議する。
 - ④小学生50円バスなどの継続して実施する利用促進策と、工場見学ツアーの実施など、来年度に向けた新たな利用促進案の検討。



その他、評価改善委員会で提案された改善点に取り組みます。

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

湖西市地域公共交通会議

平成22年3月19日設置

フィーダー系統 平成28年8月5日 確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>自主運行バスとしての「コーちゃんバス」については、地域協働推進事業でのラッピングや時刻表の配布等により市民に浸透しつつありますが、系統の見直し等により目標の利用人員を大きく下回った路線が複数あります。</p> <p>市民や利用者が主体の「湖西市バス運行評価改善委員会」などからの提案、改善策を基に、更なる利用促進に取り組まれるとともに、今後は、連携計画からの移行を目指して策定中の「地域公共交通網形成計画」によって持続可能な交通ネットワークの構築実現されることを期待します。</p>	<p>湖西市地域公共交通網形成計画を策定し、評価改善委員会においても評価や改善提案を形成計画のスケジュールや実施事業に沿った形で行なうこととし、課題や対応を明確にすることで、湖西市が目指す交通将来像、交通ネットワークの実現に繋げやすくしました。</p> <p>運転免許証自主返納等による2年間の無料乗車券の交付をはじめとする利用促進策や、住民意見を基にした系統の見直しを実施し、利便性の向上に努めました。</p>	<p>①湖西市地域公共交通網形成計画で抽出した課題を基本方針に沿って解決していく。</p> <p>②路線維持の基準を検討し、基準に満たない便については、改善策や効率的運行に取り組む。</p>

湖西市の地域公共交通に関する主な課題

①市内及び隣接市を含む広域的な移動ニーズに対応した公共交通ネットワークを形成する必要があります。

②路線・地域特性に応じた誰もが分かりやすく、利用しやすい公共交通サービスを提供する必要があります。

③集約連携型都市構造を実現する戦略的な公共交通施策を展開する必要があります。

④市民、事業者、自治会、市民活動団体及び行政の各主体が連携し、皆で公共交通を支える仕組みを検討する必要があります。

- 湖西市地域公共交通網形成計画を策定し、交通将来像、基本方針、課題、スケジュールを整理し、交通将来像の実現に向けた一貫した取り組みや施策を実施している。
- 湖西市バス運行評価改善委員会を継続的に開催し、コーちゃんバスの運行について、市民や学識経験者から構成された委員による評価を行っている。平成29年度から、湖西市地域公共交通網形成計画に沿った評価を実施している。
- 昨年度の湖西市バス運行評価改善委員会での評価を踏まえ、平成28年10月3日より、市民から要望のあった買い物施設などへ直接移動できるよう運行経路や時刻の改正を行い、利用者の利便性向上と、バス停間時分の見直しをして、遅延の解消に努めた。改正後は乗車人員の増加傾向が継続している。
- 市民が主体的に活動を行う「コーちゃんバスを上手に利用する会」を発足し、定期的に公共交通を考える機会を設けている。会員のバス乗車体験による路線や利用促進案の提案などを行っている。

